



いまい保全の会

(静岡県 袋井市)

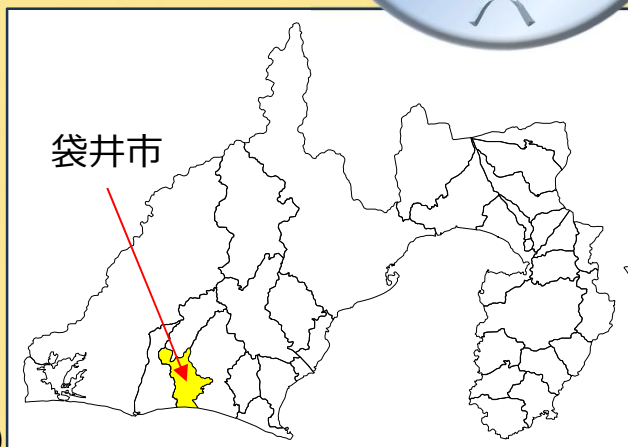


組織の概要

静岡県袋井市の北西部に位置し、水田農業を主体とするほか、日本でも有数のクラウンメロンの産地です。

農家や地域住民で農地や農業用施設を守り、地域資源を後世に残したいという強い思いから、平成19年に「いまい保全の会」を立ち上げ、農業体験活動など、地域をあげて取り組んでいます。

取組面積 186.2ha (田161.9ha、畑 24.3ha)



地域資源保全活動

- 8つの集落で構成されており、各集落が適時適切に農道や水路の草刈り、清掃を行っています。
- 活動の参加人数も確保されており、地域内において適切に保管理されています。



草刈り作業



水路清掃 (泥上げ)

農村環境保全活動

- 「田んぼの楽校」は、小学5年生を対象に年間を通じて、米作りを体験してもらう取組です。構成団体の1つである磐田用水東部土地改良区もこの活動に参加し、田んぼが持つ多面的機能に関する紙芝居「水の番犬名犬タロー」を通じて、農業の大切さを伝えています。
- 「畑の楽校」は、小学2年生を対象に野菜作り、小学3年生を対象に大豆作りを体験してもらう取組です。最後に収穫祭として、豆腐作りを行っています。



田植え体験



紙芝居「水の番犬名犬タロー」



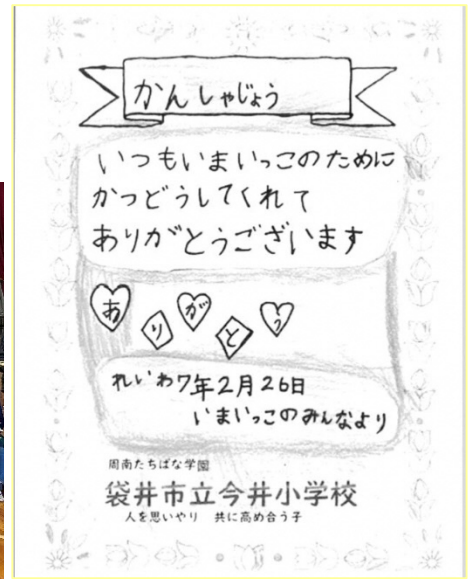
豆腐作り体験

多面的機能の増進を図る活動

○農村伝統文化の継承として、毎年12月、稲作体験の収穫後の稲藁を使って「しめ縄づくり体験教室」を開催し、農村地域に伝わる伝統文化を次世代を担う子供たちに伝え続けています。



しめ縄づくり体験教室



小学校からの感謝状

施設の維持管理活動

○活動の対象施設に位置付けた水路について、地域の営農に支障が出ることのないよう、計画的に改修を行っています。

○一部直営施工を実施することにより、自分たちの使う施設に対して、理解が深まっています。



直営による測量



水路の長寿命化

取組の成果

○地域住民の連帯意識が強まったことで、行政主体ではなく、自ら対応するなど、地域の資源を自分たちで守っていくという意識や自主性が芽生えました。

○地域内で話合いの場があることや活動を通じた連携により、隣の方に一緒に耕作してもらうなど、活動組織による活動が農地集積にも貢献しています。

○磐田用水東部土地改良区が事務処理や活動へ参加することにより、土地改良区と農家・地域住民との距離が近くなり、土地改良区を一層理解してもらえることにもつながっています。